

経尿道的尿管結石除去術を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明：尿管に結石があります。 疼痛や血尿の原因になっていると考えられます。	退院基準：①血尿スケール2以下である ②自己排尿ができる ③発熱(37.5℃以下)がない ④麻酔の影響(頭痛・嘔気)がない ⑤退院後の生活について理解ができている
--	--

	外来	入院当日 (/)	手術当日(術前) (/)	手術当日(術後)	術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目 (/) ~ 退院日
検査・治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> ●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 上記の検査を行います。	□午前手術の場合 左手に点滴用の管を入れます。 ●リストバンドに名前と	□午後手術の場合 10時頃、左手に点滴用の管を入れます。 ●手術着に着替えます。	●体温・脈拍・血圧を手術直後から、定期的に測ります。 ●腰椎麻酔が醒めてきているか確認します。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●採血があります。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。	
薬剤	●普段内服している お薬がありましたらお知らせ下さい。 	●21時に下剤2錠をお飲み下さい。	□午前手術の場合 7時頃から点滴を始めます。 □午後手術の場合 10時頃から点滴を始めます。	●点滴を行います。 ●抗生剤の点滴を行います。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使用することがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。	●点滴終了後、点滴の管を抜きます。		
安静度・リハビリテーション		●普段通りの生活ができます。	●歩いて手術室に行きます。	●術後6時間まではベッド上安静です。 ●居室6時間後ふたつきなく血圧・脈拍等に異常なく、気分不快がなければ看護師が付き添いリハビリ歩行ができます。 □食事の時は、頭を少し上げます。			
排泄	●制限はありません。	●制限はありません。		●手術後尿道に管が入っています。 ●術後6時間まではベッド上排泄ですその後、麻酔がさめて歩行ができれば普段通り排泄できます。	●尿道に管が入っています。		●尿の管を抜きます。
清潔	●入浴できます。	●シャワー浴して下さい。	●時計、指輪等のアクセサリ、入れ歯等 はずせるものははずして下さい。 ●化粧、マニキュアはしないで下さい。	●体を拭き、パジャマに着替えます。		●シャワー浴が可能です。 	●シャワー浴が可能です。
食事・栄養管理		●食事は、夕食まで食べられます。	●食事を摂ることはできません。 ●水分は、お茶・水のみ () 時まで摂ることができます。それ以降は摂ることができません。 	●居室2時間後より水分及び食事をとることができます。看護師が時間をお知らせ致します。	●普通食が食べられます。制限はありません。 		
説明・指導・教育	<手術の必要物品> コップ 曲がるストロー 入れ歯入れ(必要時) ※ひとつずつに名前を書いて下さい。 ※手術前日に看護師が確認します。 ※手術当日に看護師が預かります。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師から薬の説明があります。 	●手術着に着替える前(手術室に入室する30分前)排尿を済ませ下さい。 ※手術室に入室する時刻(時 分の予定) ※ご家族の方は、手術が始まりましたら、A棟5階食堂でお待ち下さい。原則病棟内でお待ちください。やむを得ず病棟外へ行く場合は看護師に声掛けしていただく様お願いいたします	●尿道に管が入っていますので引張らないようにして下さい。 ※ご本人・家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 	●麻酔の影響で吐き気・頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。水分を多めにとるようにしましょう。	●尿道の抜けた後、しばらくは血尿・排尿時痛などがおこりますので、水分を十分とりましょう。	●退院療養計画書をお渡しいたします。 ●退院後の生活についての説明があります。(医師・看護師) 
サイン欄							

※この用紙に記載された内容は予定であり病状に応じて内容・入院日数の変更はありますが、日々説明を行っていきます。ご不明な点はお気軽にお伝え下さい。